



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8059 URL <https://www.djk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇野 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長代理(兼)経理部長 (氏名) 岡田 秀樹 (TEL) 03-6370-8697  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	31,876	△9.9	1,035	△38.8	1,081	△37.6	725	△16.6
2019年3月期第1四半期	35,385	10.1	1,693	151.2	1,733	128.3	870	198.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 668百万円(△2.5%) 2019年3月期第1四半期 685百万円(△2.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	68	06	67	73
2019年3月期第1四半期	81	72	81	32

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	111,310	45,852	41.1
2019年3月期	112,561	45,710	40.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 45,721百万円 2019年3月期 45,545百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	60.00	—	50.00	110.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	50.00	—	60.00	110.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2019年3月期の第2四半期末配当金には創立70周年記念配当15円00銭を含んでおります。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	82,000	6.1	3,100	△13.3	3,300	△12.1	2,200	△3.2	206	21
通期	165,000	1.9	6,300	△16.8	6,600	△18.2	4,400	△1.3	412	35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	11,086,400株	2019年3月期	11,086,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	413,714株	2019年3月期	431,154株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	10,665,726株	2019年3月期1Q	10,656,636株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により企業業績や雇用・所得環境等に引き続き改善の傾向が見られ、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、一部の国・地域における地政学的リスクの顕在化、中国や新興国経済の成長鈍化、米中貿易摩擦の影響による世界経済の減速懸念など、不安定な国際情勢を背景に依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、プラスチック製品関連業界向けの成形機等や、自動車関連業界向けの自動化設備等の売上が減少したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間と比べて35億9百万円減少の318億76百万円（前年同期比9.9%減）となりました。また、営業利益は6億57百万円減少の10億35百万円（前年同期比38.8%減）、経常利益は6億51百万円減少の10億81百万円（前年同期比37.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億44百万円減少の7億25百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## プラント・エネルギー事業

化学および石油プラント用設備や車載用リチウムイオン電池製造設備等の売上が減少したため、売上高は7億57百万円減少の66億46百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億19百万円減少の16百万円（前年同期比88.0%減）となりました。

## 産業機械事業

プラスチック製品・食品関連業界向けの成形機および周辺機器、自動加工機等の売上が減少したため、売上高は18億68百万円減少の48億7百万円（前年同期比28.0%減）、セグメント利益（営業利益）は2億55百万円減少の8百万円（前年同期比96.6%減）となりました。

## エレクトロニクス事業

I Tおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品製造関連設備等の販売が減少したため、売上高は6億93百万円減少の99億50百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1億28百万円減少の5億43百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

## 自動車事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、塗装ライン、車載電子部品製造関連設備等の需要が少なかったため、売上高は15億44百万円減少の67億16百万円（前年同期比18.7%減）セグメント利益（営業利益）は3億5百万円減少の1億70百万円（前年同期比64.1%減）となりました。

## ファーマ事業

錠剤外観検査装置やパッケージング用機器・装置等の売上が増加したため、売上高は2億23百万円増加の21億7百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益（営業利益）は9百万円増加の1億83百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

## 航空事業

航空機地上支援機材および空港施設関連機器等の売上が大幅に増加したため、売上高は11億8百万円増加の15億97百万円（前年同期比226.5%増）、セグメント利益（営業利益）は83百万円増加の1億2百万円（前年同期比438.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、12億50百万円減少の1,113億10百万円となりました。これは主に、プラント関連の前渡金の増加があったものの、売上債権の減少があったことによるものであります。

負債合計は、13億92百万円減少の654億58百万円となりました。これは主に、プラント関連の前受金の増加があったものの、仕入債務の減少があったことによるものであります。

純資産合計は、1億41百万円増加の458億52百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益7億25百万円の計上があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した内容に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,839	25,771
受取手形及び売掛金	43,327	34,355
電子記録債権	2,656	3,092
商品及び製品	11,991	11,995
仕掛品	1,108	1,408
原材料及び貯蔵品	454	472
前渡金	11,016	13,942
その他	5,628	5,344
貸倒引当金	△202	△178
流動資産合計	97,818	96,206
固定資産		
有形固定資産	3,080	3,442
無形固定資産	515	498
投資その他の資産		
投資有価証券	8,395	8,439
退職給付に係る資産	1,159	1,153
繰延税金資産	464	464
その他	1,269	1,250
貸倒引当金	△143	△145
投資その他の資産合計	11,145	11,162
固定資産合計	14,742	15,103
資産合計	112,561	111,310
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,395	38,052
短期借入金	7,286	7,722
未払法人税等	1,215	128
前受金	13,242	14,925
引当金	1,560	1,139
その他	1,619	1,829
流動負債合計	65,321	63,797
固定負債		
長期借入金	470	369
繰延税金負債	411	542
引当金	19	21
退職給付に係る負債	340	345
その他	286	381
固定負債合計	1,529	1,660
負債合計	66,851	65,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,786	3,787
利益剰余金	35,369	35,562
自己株式	△974	△934
株主資本合計	43,286	43,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,961	1,822
繰延ヘッジ損益	△77	△21
為替換算調整勘定	276	298
退職給付に係る調整累計額	98	101
その他の包括利益累計額合計	2,258	2,201
新株予約権	144	110
非支配株主持分	20	20
純資産合計	45,710	45,852
負債純資産合計	112,561	111,310

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	35,385	31,876
売上原価	29,766	26,816
売上総利益	5,619	5,060
販売費及び一般管理費	3,926	4,024
営業利益	1,693	1,035
営業外収益		
受取利息	12	19
受取配当金	79	95
仕入割引	59	42
持分法による投資利益	17	15
その他	61	28
営業外収益合計	230	201
営業外費用		
支払利息	8	11
売上割引	1	1
支払手数料	19	21
為替差損	114	81
和解金	45	—
その他	2	38
営業外費用合計	191	155
経常利益	1,733	1,081
特別利益		
固定資産売却益	4	2
会員権売却益	—	5
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除却損	8	0
投資有価証券評価損	395	1
特別損失合計	403	1
税金等調整前四半期純利益	1,334	1,088
法人税、住民税及び事業税	155	204
法人税等調整額	308	157
法人税等合計	464	361
四半期純利益	869	726
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	870	725

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	869	726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	△138
繰延ヘッジ損益	△82	55
為替換算調整勘定	△31	21
退職給付に係る調整額	30	3
その他の包括利益合計	△184	△58
四半期包括利益	685	668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686	668
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	自動車 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,404	6,676	10,643	8,261	1,883	489	35,358	27	35,385	—	35,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	191	260	174	20	—	735	8	743	△743	—
計	7,493	6,867	10,904	8,435	1,904	489	36,094	35	36,129	△743	35,385
セグメント利益又は 損失(△)	136	264	671	476	173	18	1,741	5	1,747	△53	1,693

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△53百万円には、セグメント間取引消去△10百万円、たな卸資産の調整額△23百万円およびその他の調整額△19百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	自動車 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	6,646	4,807	9,950	6,716	2,107	1,597	31,826	50	31,876	—	31,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	76	171	36	4	—	307	6	314	△314	—
計	6,665	4,884	10,121	6,753	2,112	1,597	32,134	56	32,191	△314	31,876
セグメント利益又は 損失(△)	16	8	543	170	183	102	1,024	△4	1,020	15	1,035

注1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額15百万円には、セグメント間取引消去20百万円、たな卸資産の調整額2百万円およびその他の調整額△7百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、新たに自動車事業を設立したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「産業機械事業」「エレクトロニクス事業」から、「産業機械事業」「エレクトロニクス事業」「自動車事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。